鉄で未来を 未来の鉄を

2023/3期 決算説明資料

2023年5月

大和工業株式会社

東証プライム（証券コード：5444）

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

略語、会計年度、換算レート

● **略語の説明**

タイ	**SYS**	Siam Yamato Steel Co., Ltd.
アメリカ	**NYS**	Nucor-Yamato Steel Company
アメリカ	**ASA**	Arkansas Steel Associates, LLC
ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**SULB**	Sulb Company BSC(c)
ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ	**Saudi Sulb**	United Sulb Company (Saudi Sulb) LLC
ベトナム	**PY VINA**	POSCO YAMATO VINA STEEL JOINT STOCK COMPANY
韓国	**YKS**	YK Steel Corporation
アメリカ	**YKA**	Yamato Kogyo America, Inc.
アメリカ	**YHC**	Yamato Holding Corporation
アメリカ	**YK(USA)**	Yamato Kogyo (U.S.A.) Corporation
ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**Bahrain Venture**	United Steel Company(”Sulb”)　Bahrain Venture Co.W.L.L.
韓国	**YKH**	Yamato Korea Holdings Co., Ltd.

● **会計年度**

	会計年度（FY）	2022年度（FY2022）	1Q	2Q	3Q	4Q
当社・国内子会社・関連会社	4月～翌3月	2022年4月～2023年3月（2023/3期）	2022年4～6月	2022年7～9月	2022年10～12月	2023年1～3月
海外子会社・関連会社	1月～12月	2022年1月～12月（2022/12期）	2022年1～3月	2022年4～6月	2022年7～9月	2022年10～12月

● **換算レート**

		Yen/Dollar	Yen/Baht	Won/Yen
損益計算書	1-12月平均	132.09（110.39）	3.75（3.44）	9.78（10.37）
	翌期予想	130.86	3.82	9.96
貸借対照表	2022年12月末 2023年３月末	132.70（115.02） 133.54（122.41）	3.82（3.43）	9.55（10.31）
	2023年12月末予想 2024年3月末予想	130.00 128.00	3.79	10.08

（注）カッコ内は前年同期

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

決算ハイライト

Ⅰ 2023/3期 決算の概要

Ⅱ 2024/3期 決算の見通し

Ⅲ 株主還元(配当方針の一部見直し)

Ⅳ その他トピックス（ESG関連）

Ⅴ 企業価値向上に向けた取り組み状況

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

決算ハイライト – 2023年3月期

事業動向KPI

グループ
総販売数量*
598万トン
(前年同期比▲8.4%)

H形鋼
販売比率**
68.1%
(前年同期比▲0.3pp)

海外比率
(経常利益基準)
85.1%
(前期比▲7.4pp)

自己資本
比率
85.6%
(前期末比+1.2pp)

財務動向KPI

営業利益率
9.3%
(前年同期比+0.5pp)

持分法損益
662億円
(前年同期比+64.2%)

経常利益率
50.2%
(前年同期比+11.7pp)

ROE
16.5%
(前期比+4.3pp)

*グループ会社の販売数量の単純合計。半製品、DRI及びグループ間取引を含む
**半製品、DRIを除く製品に占めるH形鋼の販売比率

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

I 2023/3期 決算の概要

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2023/3期　決算の概要

- **増収、増益。経常利益と当期純利益は過去最高益を更新**
- **ウクライナ問題の長期化、世界的な資源価格の高騰や中国経済減速の影響等により、鋼材需要・市況の落ち込みが見られたものの、米国・日本・中東の形鋼需要は年間を通じて底堅く推移**
- **経常利益は前期比57%増の905億円。特に米国が高水準の鋼材マージンを確保し、業績を牽引**

（億円）	2022/3期	2023/3期		前期比		直近予想比増減額
		直近予想（2023/1/31）	**実績**	増減額	増減率	
売上高	1,500	1,800	**1,804**	304	20.3%	4
鉄鋼事業（日本）	573	–	**728**	155	27.1%	–
鉄鋼事業（タイ国）	824	–	**973**	148	18.0%	–
軌道用品事業	71	–	**64**	▲6	▲9.6%	–
営業利益	132	160	**168**	35	26.5%	8
鉄鋼事業（日本）	23	–	**87**	63	271.1%	–
鉄鋼事業（タイ国）	127	–	**107**	▲19	▲15.6%	–
軌道用品事業	5	–	**2**	▲2	▲53.0%	–
経常利益	576	885	**905**	328	57.0%	19
持分法投資損益	403	–	**662**	259	64.2%	–
親会社株主帰属当期純利益	399	640	**653**	254	63.6%	13
営業利益率	8.9%	8.9%	**9.3%**	0.5pp	-	0.4pp
経常利益率	38.4%	49.2%	**50.2%**	11.7pp	-	1.0pp

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2023/3期　決算の概要 (四半期)

- **4Qは3Q対比で減収減益となるも高水準を維持**
- **前1Qから当2Qまでは販売価格の押上げ等により増収増益基調であったものの、3Q以降は中国の経済状況や鋼材輸出の影響を受け易いASEAN地域は軟化傾向**

（億円）	2022/3期				2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	**4Q**	1Q	2Q	3Q	**4Q**
売上高	328	349	400	423	469	477	443	**413**
鉄鋼事業（日本）	116	134	159	164	183	179	192	**173**
鉄鋼事業（タイ）	188	187	216	233	265	274	221	**212**
軌道用品事業	16	21	17	17	13	14	18	**17**
営業利益	16	21	47	47	42	51	41	**32**
鉄鋼事業（日本）	2	3	9	9	9	22	30	**24**
鉄鋼事業（タイ）	18	21	43	44	38	35	17	**15**
軌道用品事業	1	3	1	0	0	0	1	**0**
経常利益	83	128	185	180	231	281	214	**177**
持分法投資損益	63	101	124	115	151	199	174	**137**
親会社株主帰属四半期純利益	55	93	129	120	180	198	152	**121**
営業利益率	4.9%	6.1%	11.9%	11.2%	9.0%	10.9%	9.4%	**7.8%**
経常利益率	25.3%	36.7%	46.2%	42.6%	49.3%	59.0%	48.3%	**42.9%**

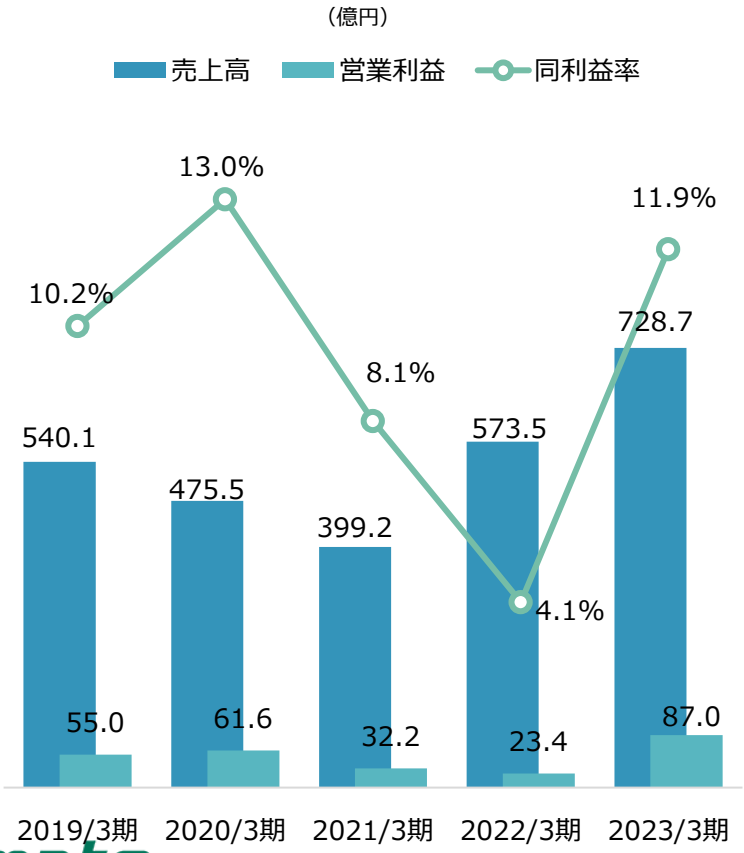
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　①鉄鋼事業（日本）

- **国内需要は都市再開発や半導体工場等の大型建築案件中心に底堅く推移**
- **販売価格の押上げにより鋼材マージンが改善し、増収増益**

業績推移



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ 建設資材高騰の影響から中小案件は低調に推移したものの、大型案件の需要は底堅く推移
  - ✓ ５月以降下落基調であった鉄スクラップ市況は8月に底を打ち、エネルギー価格は期初から上昇基調が続く
- ヤマトスチールの動向
  - ✓ 主力の物件向けH形鋼を中心に受注確保。販売数量は前期比1.2%増の57万トン
  - ✓ 高炉メーカーが鋼板等の製品に注力するなか、新規顧客の開拓や大型サイズの生産・販売強化を図る

万トン、千円/トン	2022/3期				2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量	12.9	13.7	15.1	14.7	15.3	14.1	14.6	13.0
鋼材マージン	37.2	40.8	44.9	48.4	50.3	67.5	73.0	71.4

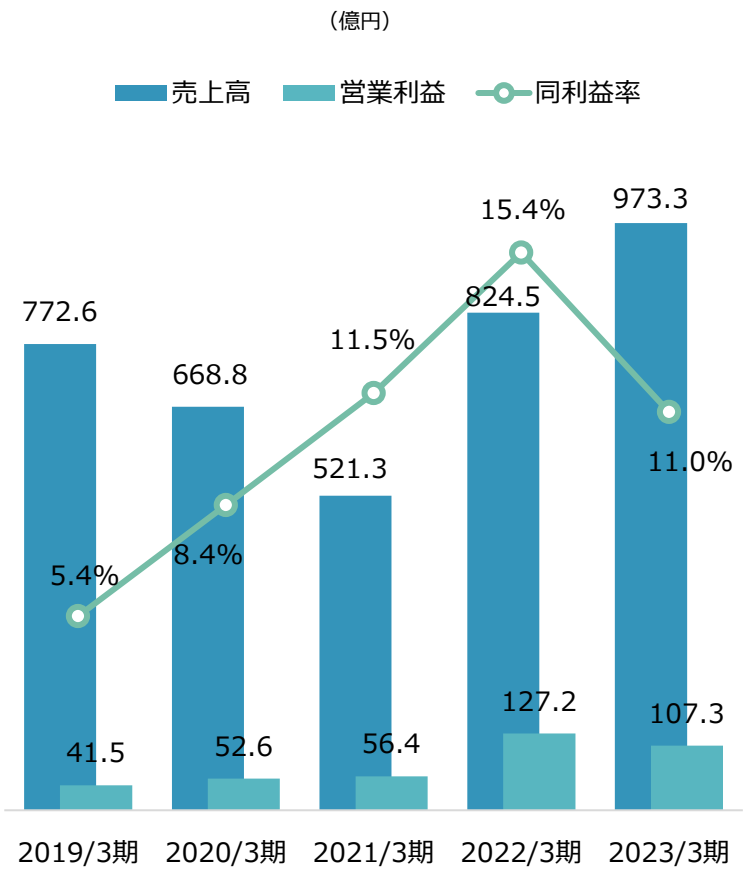
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　②鉄鋼事業（タイ国）

- **国内需要は全体的に盛り上がりに欠け、輸出市場では、下期に入り中国メーカーとの競争が徐々に激しさを増し、販売数量減**
- **減益ながら、販売価格の維持、鋼材マージンの改善により高水準の利益を確保**

業績推移



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ 国内需要は大規模公共投資を中心に回復の兆しが見られたものの、鉄スクラップ市況の下落局面で、鋼材市況の先安を見越した顧客が買い控え
  - ✓ ASEAN市場への中国・韓国製品の流入が下期以降増加傾向
- SYSの動向
  - ✓ 販売数量は前期比9%減の79万トン
  - ✓ 鉄スクラップ市況の下落時も販売価格の維持に努めたことで鋼材マージンは高水準維持

（万トン、千B/トン）	2022/3期				2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量（半製品含む）	24.1	21.0	20.9	21.4	23.5	21.5	17.3	17.1
鋼材マージン	11.1	12.3	17.2	16.9	15.9	16.3	17.6	16.6

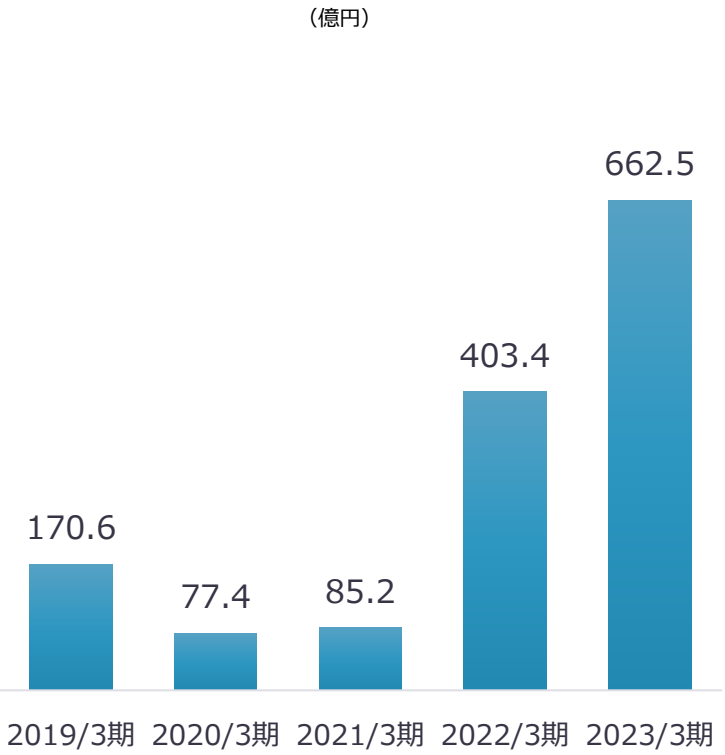
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

持分法適用会社の状況

- **米国事業が堅調な需要を背景に連結業績を牽引。中東事業も販売数量増及び鋼材マージン改善により大幅増益と貢献。アジアではベトナム事業は鋼材需要低迷も黒字確保、韓国事業は販売数量減も高水準の鋼材マージンを確保**
- **持分法投資利益は前期比64.2%増の662億円**

持分法投資損益の推移



損益増減要因

- 米国
  - ✓ 経済の先行き不安等から流通顧客が一部発注に慎重な姿勢を見せたものの、大型案件を中心に形鋼需要は底堅く推移
  - ✓ 下期は鋼板等の販売価格が下落し、形鋼市況も軟化傾向となったものの、期を通じて高水準の鋼材マージンを維持し、大幅増益
- 中東
  - ✓ 原油高を背景に中東諸国の経済情勢が上向き、インフラ投資等から建設需要も回復基調。輸出も含めた販売面強化が奏功、製品販売数量が大幅増
  - ✓ 鉄スクラップ市況が上昇した局面において鉄鋼製品・中間材の販売価格が高値で推移し、鋼材マージンが改善、大幅増益
- アジア
  - ✓ ベトナムは経済活動の回復に伴い形鋼需要も増加傾向にあったものの、中国経済の減速や不動産市場悪化から回復ペースが鈍化。販売数量減も鋼材マージン改善により黒字確保
  - ✓ 韓国の鉄筋需要は上期は堅調に推移したものの、下期はインフレと金利上昇の影響を受け、販売数量は減少するも、高水準の鋼材マージンを確保し、営業増益

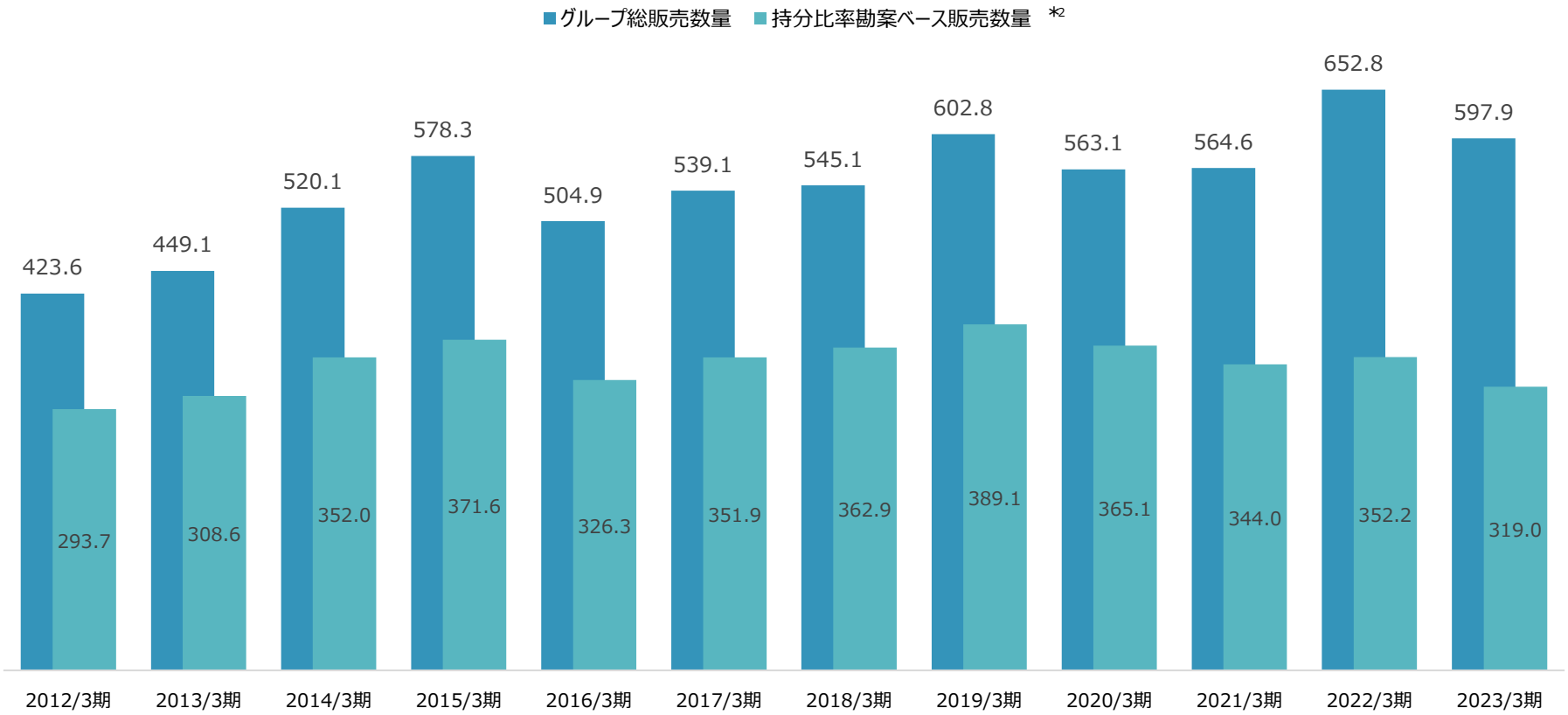
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

グループ総販売数量の推移

- **グループ総販売数量はウクライナ問題の長期化、資源価格の高騰及び中国経済減速などの影響により世界的に鋼材需要・市況の落ち込みが見られ、前年比8.4%減の598万トン**

グループ総販売数量*1の推移（万MT）

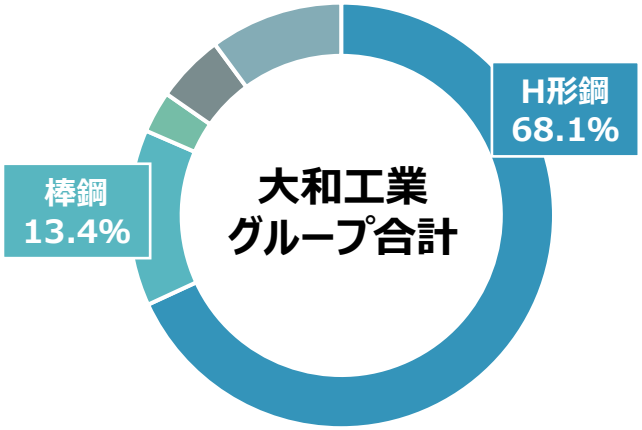


*1 半製品、DRI及びグループ間取引を含む

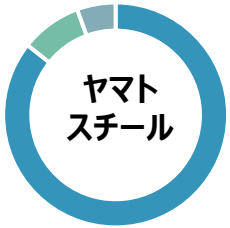
*2 各社の販売量に当社の持分比率を乗じたもの

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

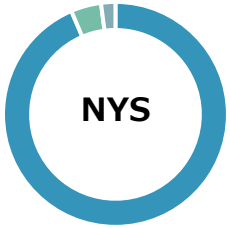
製品構成　2023年3月期累計実績



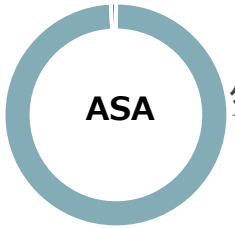
H形鋼	棒鋼	鋼矢板	山形鋼	その他
68.1%	13.4%	3.2%	5.2%	10.1%



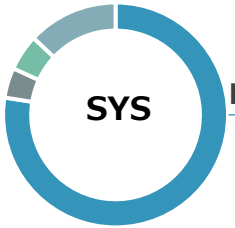
H形鋼　85.7%



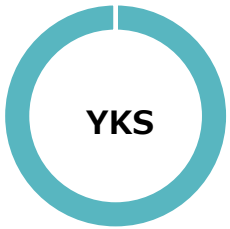
H形鋼　93.6%



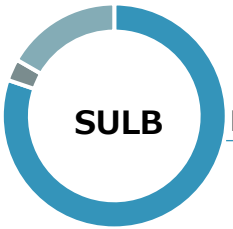
タイプレート　99.3%



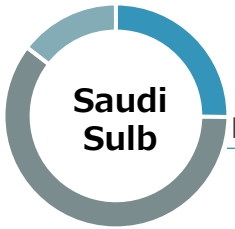
H形鋼　77.5%



棒鋼　100%



H形鋼　80.2%



H形鋼　25.2%

H形鋼　96.6%

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

B/Sの状況

- **有利子負債ゼロ。自己資本比率85.6%**
- **堅調な業績及び円安を主因として、総資産・負債純資産は増加**

（億円）	2021/3期	2022/3期	**2023/3期**	**前期比増減**
流動資産	1,500	1,677	**2,382**	705
現預金	1,015	997	**1,624**	627
売掛債権	176	251	**282**	30
棚卸資産	280	398	**398**	0
固定資産	2,097	2,472	**2,767**	295
有形固定資産	621	597	**633**	36
投資その他の資産	1,461	1,858	**2,115**	257
投資有価証券	456	562	**731**	169
(うち関係会社株式)	(361)	(440)	**(598)**	(157)
長期預金	212	236	**94**	▲141
総資産	3,597	4,149	**5,150**	1,000
負債	339	392	**447**	55
買入債務	75	110	**105**	▲4
繰延税金負債	120	138	**172**	33
純資産	3,257	3,756	**4,702**	945
為替換算調整勘定	▲22	186	**584**	398
非支配株主持分	237	253	**295**	42
負債純資産合計	3,597	4,149	**5,150**	1,000

設備能力の戦略的増強やM&A案件への機動的対応に向けての余力を確保

投資その他の資産は下記含む
関係会社株式　598億円
関係会社出資金　1,021億円
関係会社長期貸付金　251億円

うち金融資産*は1,852億円と前期末比497億円増加
(為替の影響 +約180億円)

自己資本比率は85.6%
(為替換算調整勘定+398億円の影響含む)

堅調な業績及び円安を主因として増加

*金融資産＝現預金+有価証券+投資有価証券（除く：関係会社株式）+長期預金

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

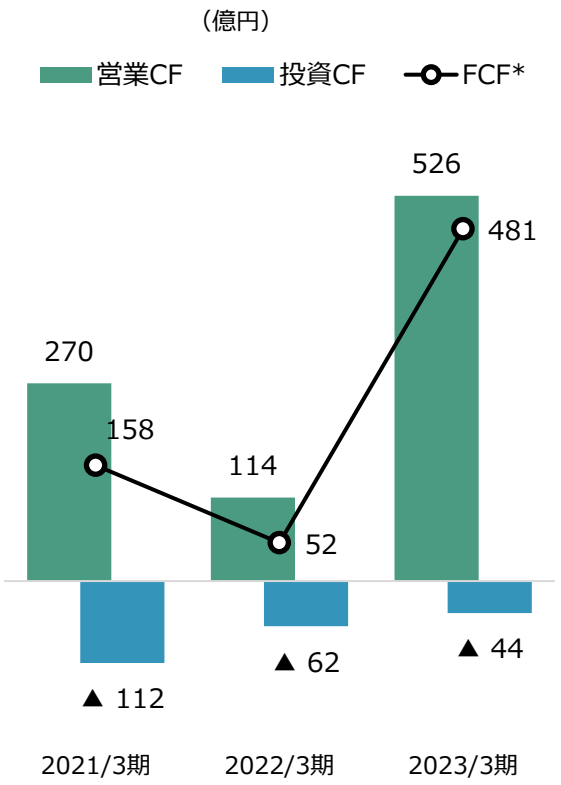
キャッシュフローの状況

- **FCFは好調な米国持分法関連会社からの現金分配等により、前期比429億円増の481億円**
- **投資CFは有形固定資産の取得等により▲44億円**
- **財務CFは株主還元等で▲177億円(前期比18億円の支出増)**

（億円）	2021/3期	2022/3期	**2023/3期**	**前期比増減**
営業CF	270	114	**526**	411
投資CF(定期預金増減除く)	▲112	▲62	**▲ 44**	17
有形固定資産取得	▲50	▲34	**▲ 38**	▲ 3
関係会社株式取得	▲26	–	**▲ 7**	▲ 7
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却	▲4	▲21	**–**	21
FCF*	158	52	**481**	429
財務CF	▲99	▲159	**▲ 177**	▲ 18
自社株買い	▲25	▲68	**▲ 0**	68
配当金支払	▲59	▲64	**▲ 158**	▲ 93

* FCF=営業CF+投資CF(定期預金増減除く) で算出

FCFの推移



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅱ 2024/3期 決算の見通し

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2024/3期決算見通し

- **減収減益予想ながらも高水準の鋼材マージン確保により過去2番目の水準での利益予想**
- **経常利益は前期比24.9%減の680億円。米国事業は歴史的好況であった前年比較では減益となる見込みも、今期も高収益確保の見通し。その他海外拠点も減益予想ではあるものの、鋼材マージン維持により高水準の利益を確保する見通し**

（億円）	2022/3期	2023/3期	**2024/3期見通し**	前期比	
				増減額	増減率
売上高	1,500	1,804	**1,600**	▲204	▲11.3%
営業利益	132	168	**95**	▲73	▲43.5%
経常利益	576	905	**680**	▲224	▲24.9%
持分法投資損益	403	662	–	–	–
親会社株主帰属当期純利益	399	653	**480**	▲173	▲26.5%
営業利益率	8.9%	9.3%	**5.9%**	▲3.4pp	–
経常利益率	38.4%	50.2%	**42.5%**	▲7.6pp	–

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算見通し

連結子会社

鉄鋼事業（日本）

- 形鋼需要は大型建築案件を中心に引き続き堅調に推移する見込み。土木関連も底堅い需要が期待され、需給は引き締まった状態が続く見通し
- 原料価格の高止まりやエネルギー価格、物流コストの上昇などコスト高は継続
- 圧延設備の更新工事を順次実施することに伴う生産・販売数量減の影響を織り込み、前期比で減収減益を予想

鉄鋼事業（タイ国）

- 国内の景気は回復基調にあり、インフラ投資を中心に建設活動が上向き、形鋼需要は徐々に回復する見込み
- 一方、輸出市場では中国メーカー等との厳しい競争環境が継続し、販売価格及び販売数量の落ち込むことを織り込み、減収減益を予想

持分法適用会社

米国

- インフレによる経済の先行き不安が続くなか、半導体・電気自動車及び再生可能エネルギー関連の建設需要は堅調ながら、流通顧客向け等は需要の伸び悩みが懸念される
- 販売価格が過去にない高値圏で推移し、高水準の鋼材マージンを確保した前期に比べ減益も、需給が引き締まった状態は続き、安定して高水準の利益を確保する見込み

中東

- 中東諸国は原油高を背景に財政状態が改善し、ビジネス活動の活発化が期待される
- インフラ投資など建設需要も回復基調にあり、引き続きフル生産を見込む
- 先行き不透明感もあることから、販売価格の下落を織り込み、連続黒字であるものの減益を予想

ベトナム

- 経済回復とともに公共投資予算の増加等から形鋼需要の回復を見込む一方、中国経済への依存度が高く、先行き不透明感あり
- 販売数量の増加を見込み、若干の増益を予想

韓国

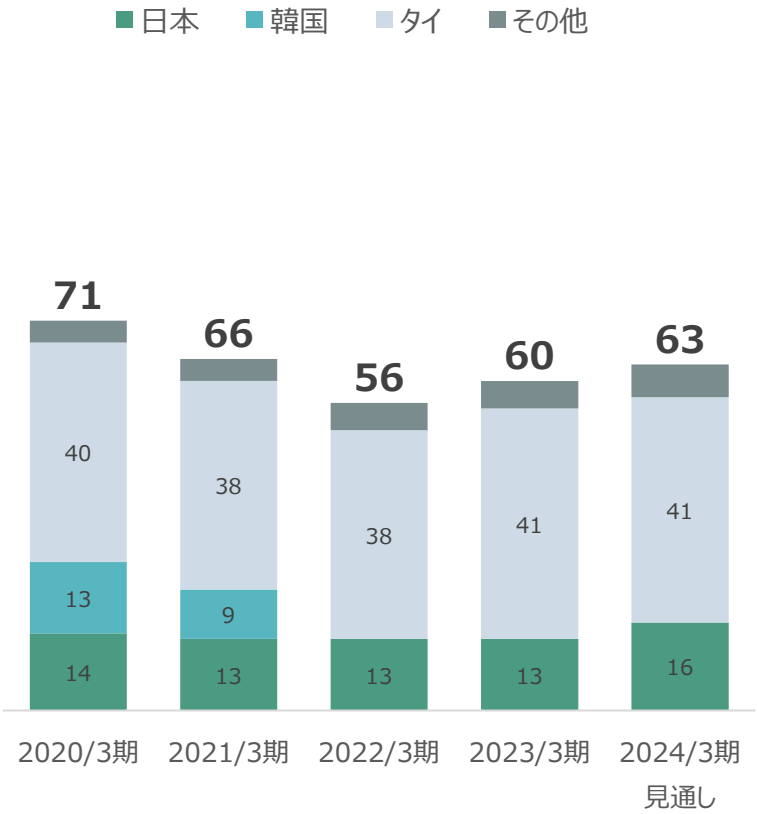
- インフレと金融引き締めにより不動産市況が軟化、鉄筋需要は減少する見込み
- 販売数量減及び販売価格下落により、営業利益ベースでは減益を予想

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

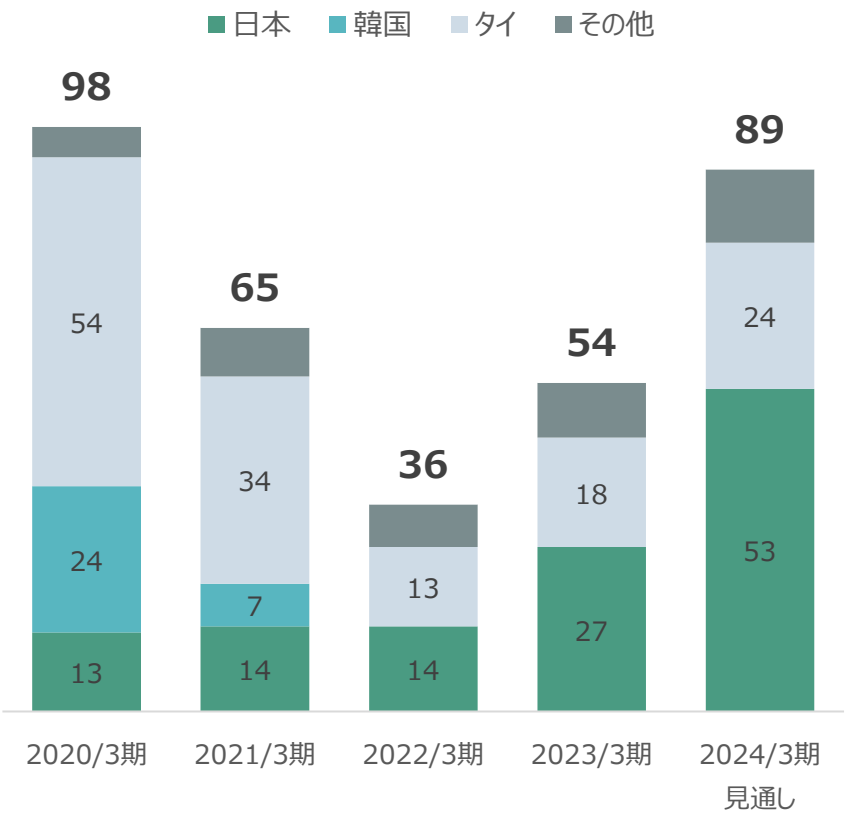
減価償却費及び設備投資の推移(連結子会社)

- **設備投資は前期比で増加となる見通し。ヤマトスチールでは圧延ライン更新等の戦略的投資が進捗。タイ/SYSは老朽化設備の更新や省人化に向けた設備導入が中心**

減価償却費



設備投資



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅲ 株主還元(配当方針の一部見直し)

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元 ― 配当方針の一部見直し

■ 2023年4月28日開催の取締役会において、配当方針の一部見直しを決議

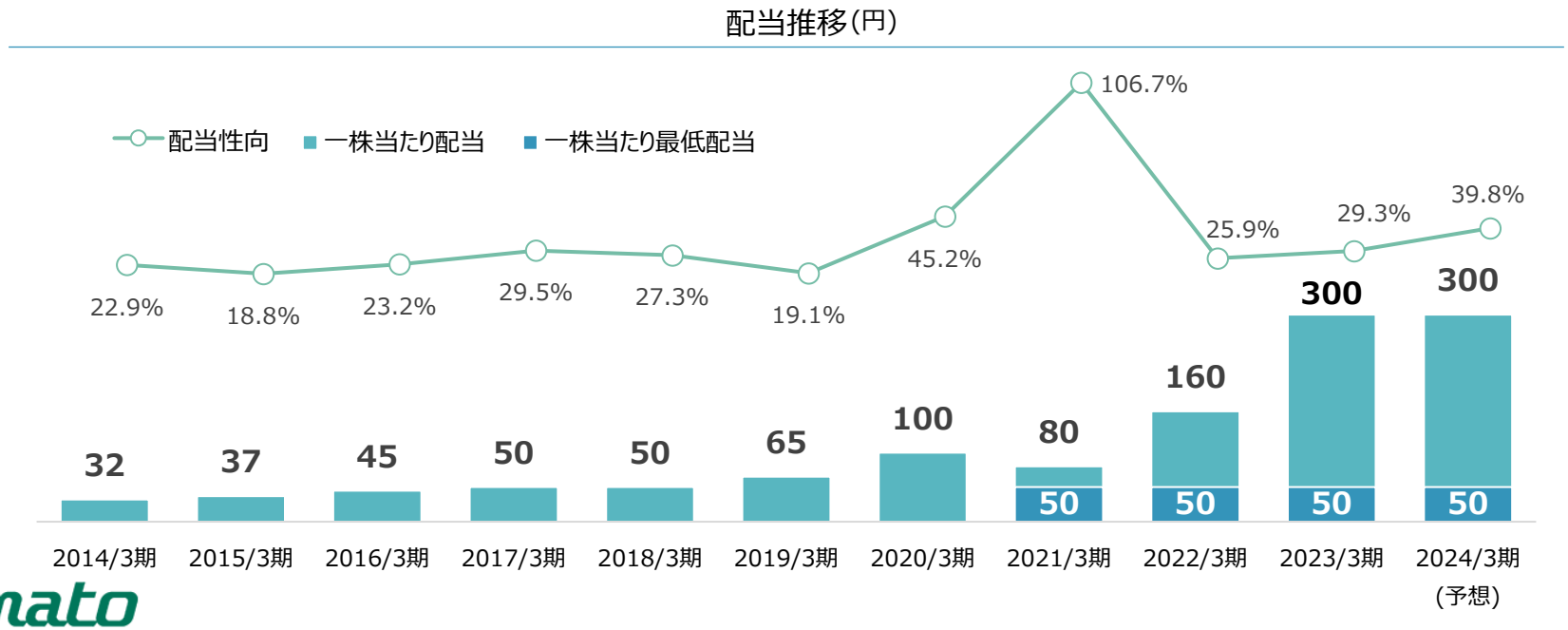
⇒ 連結配当性向を「30%を目処」から「40%を目処」に見直す

＜変更後＞

配当につきましては、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針とし、連結配当性向40%を目処に毎期の配当額を決定するとともに、継続的かつ安定的な配当の維持にも努め、１株当たり最低配当額を年間50円といたします。

また、自己株式の取得につきましても、経営環境に応じて総還元性向等を総合的に勘案したうえで、適時実施してまいります。

■ 2024/3期 1株あたり普通配当300円(中間150円/期末150円)を予定



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅳ　その他トピックス(ESG関連)

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

その他トピックス―ESG関連

◇サステナビリティ基本方針・中長期ビジョン開示

➢ **国内環境Vision策定**

- **2030年・2050年のCO2削減目標を公表(2013年度比)**
- **2050年カーボンニュートラル達成に向け、各種投資や施策を検討、推進中**

2025年目標	2030年 環境Vision	2050年 環境Vision
CO2排出量 38%削減	CO2排出量 46%削減	カーボン ニュートラルに挑戦

- ✓ エネルギー効率の向上
- ✓ 脱炭素技術の導入
/既存技術の高度化
- ✓ 再生可能エネルギーの活用
- ✓ 加炭材使用の削減
- ✓ カーボンオフセット

◇Global Steel Climate Council(GSCC)参画

- **米Nucor(NYSのJVパートナー)が創立メンバーである国際イニシアチブGSCCに加盟**
- **GSCCは、北米、南米、欧州、アジアの電炉鉄鋼メーカーとスクラップ事業者を中心に構成**
- **パリ協定の1.5度シナリオを達成すべく、鉄鋼業界の脱炭素化の促進を目指すイニシアチブ**

➢ **大和工業グループGSCC加盟拠点**

- ・大和工業(日本)
- ・ASA(米国)
- ・SYS(タイ)

GSCC Global Steel Climate Council

＊詳細はGSCCのウェブサイトをご確認下さい

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

V 企業価値向上に向けた取り組み状況

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業価値向上に向けた取り組み状況

【IR活動の強化】

- 開示資料、対話機会の拡充等の取り組み開始：2020年8月
- 定期的に取締役会/経営会議において進捗報告及び対応協議

【事業戦略の明確化】

- キャッシュ配分方針(向こう5年計画)を公表：2021年3月決算説明資料
- 事業の中長期展望と投資戦略を公表：2022年3月決算説明資料
  現状認識のもと「経営課題」「グランドデザイン」「アクションプラン」を明記
  以降、半年毎に経過レビュー報告(※次項でご説明)

【株主還元の充実】

- 株主還元方針の変更：2019年8月
  連結配当性向の導入(30%目処)、最低配当額の設定(年間50円)
- 配当方針の見直し　：2023年4月
  連結配当性向の引上げ(40%目処)
- 直近3年の自己株式の取得状況
  2020年度 100万株、2021年度 200万株

Yamato 大和工業グループ

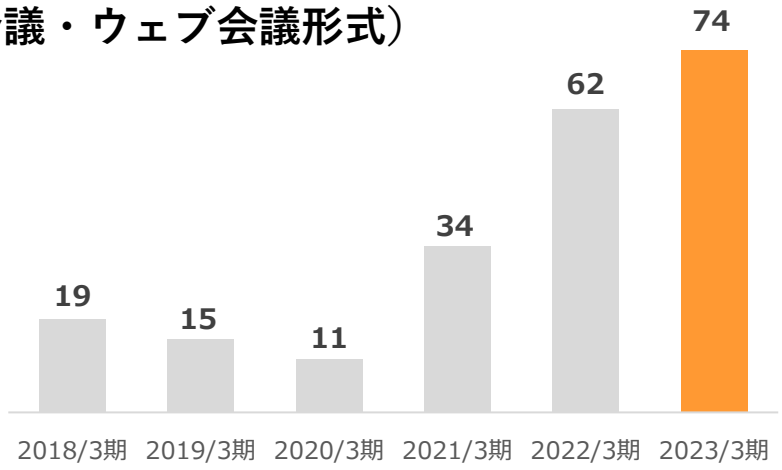
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主との対話の実施状況等

IR活動実績(株主/機関投資家・証券アナリスト向け)

◆ 経営層が参加する個別面談(対面・電話会議・ウェブ会議形式)

2023/3期 実施件数 74件



◆ 決算説明会(ウェブ配信形式)

開催時期：5月/11月
説明者　：社長、財務担当役員

◆ その他の活動

- IR資料の充実　：会社紹介、FACTBOOK、決算説明資料(QA含む)のＨＰ掲載
- 個人投資家向け　：ウェブ説明会開催、IRテレビ番組への出演
- 外国人投資家向け：英文開示の拡充(決算短信、FACTBOOK、決算説明資料(ＱA含む)、会社紹介、定時株主総会招集ご通知)

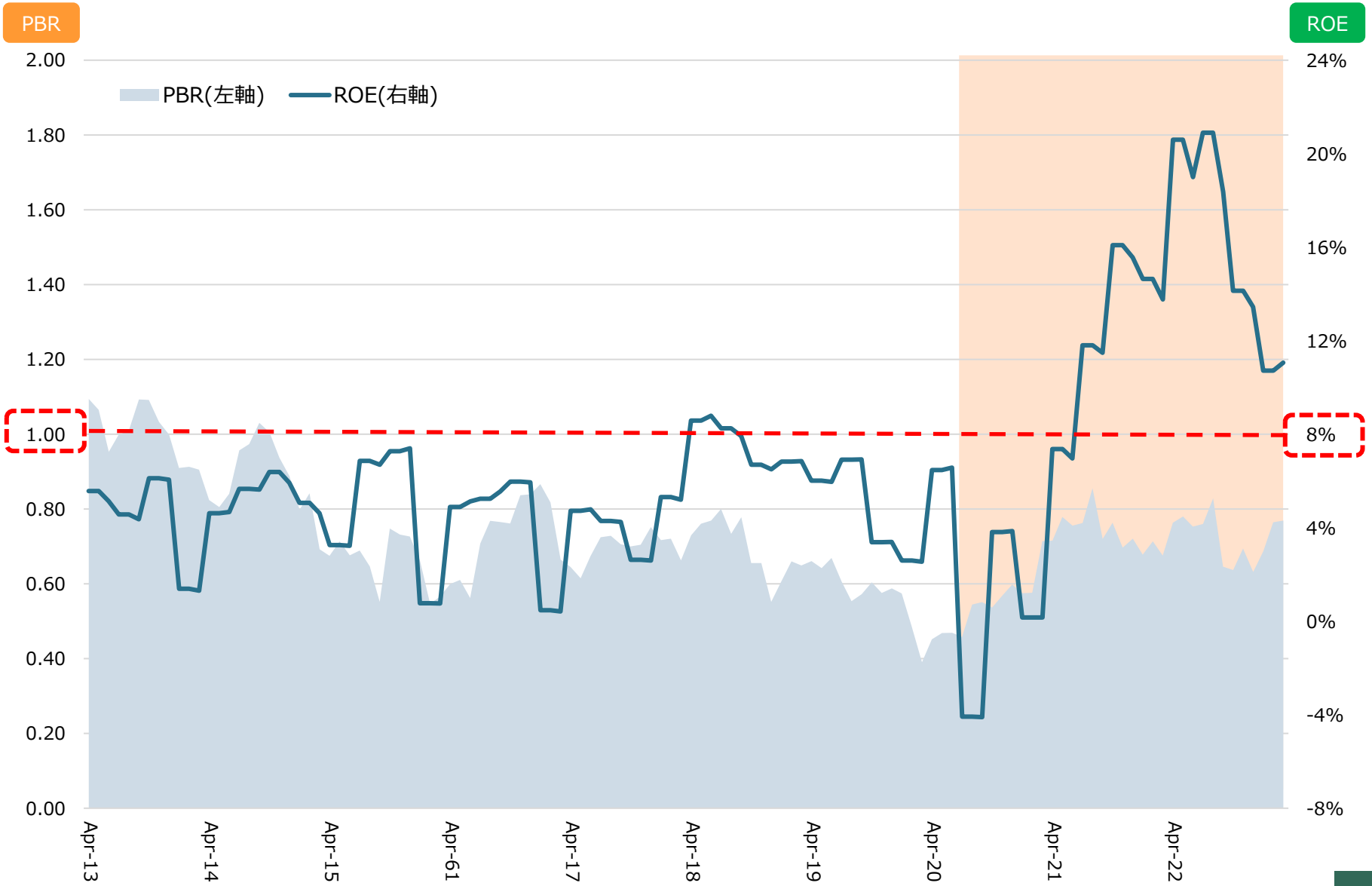
◆ 面談での主な議論テーマ

・PBR/ROE水準、株主還元方針、成長投資の進捗状況、脱炭素の取組み等

対話の内容については、定期的に取締役会/経営会議に報告し、重要事項として継続的に議論

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

ROEとPBR(市場からの評価)の推移

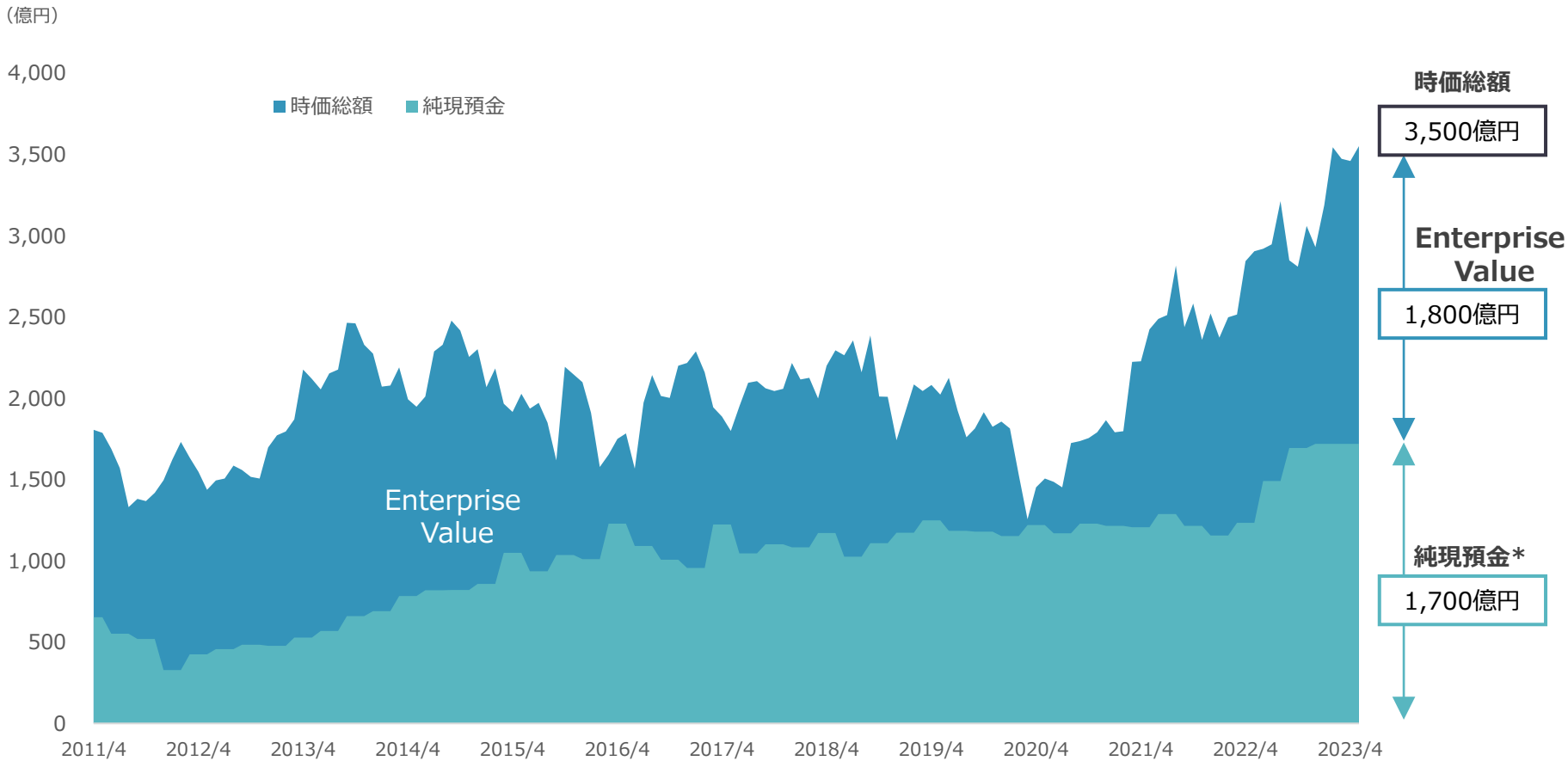


*ROE＝PBR/PERで計算

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

（参考）Enterprise Valueの推移

時価総額と純現預金*の推移



*純現預金＝現預金＋長期預金－長短借入金

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業の中長期展望と投資戦略(2022年5月公表)

～　1年経過レビュー　～

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

KPI総括

【実績】

- グループ総販売量…ウクライナ問題の長期化、世界的な資源価格の高騰や中国経済減速の影響等により、世界的に鋼材需要・市況の落込みが見られ、前年比54万トン減
- ROE…　過去最高の純利益を計上し、前年比4.3%上昇

【予想】

- グループ総販売量…中国の経済活動再開による鉄鋼需要回復の期待があるものの、世界景気の下振れ懸念は継続。形鋼需要も全体的に盛り上がりに欠けるものの、中間材も含め前期並みを確保
- ROE…　前期末純資産増(為替換算調整勘定増含む)及び減益により低下

注視するKPIの状況

KPI	2022/3期 実績	2023/3期		前期比	2024/3期 見込み
		2022年11月開示	実績		
グループ総販売量*	652万トン	600万トン	**598万トン**	△54万トン	**600万トン**
海外比率（経常利益基準）	92.5%	85.0%	**85.1%**	△7.2%	**80.0%**
営業利益率	8.9%	8.4%	**9.3%**	+0.5%	**5.9%**
ROE	12.2%	16.0%	**16.5%**	+4.3%	**10.0%**

*中間材(半製品、DRI)及びグループ間取引を含む

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

アクションプランの進捗状況

アクションプラン	2023/3期進捗
①グローバル販売数量の拡大	
ASEAN形鋼300万トン体制構築計画 1. M&Aを通じて新規拠点を獲得 2. 既存拠点の増強 タイ（SYS） 既存圧延ラインの更新 （ASEAN展開のマザー工場化） ベトナム（PY VINA） 中小型圧延ライン増設	**ASEAN形鋼300万トン体制に向け取り組み継続** 1. 計画に沿って進行中 2. 最適な投資時期を検討中 環境関連など他の投資時期も考慮 市場動向などを見極め
②最先端技術の導入による高収益化	
● マザー工場であるヤマトスチールの競争力強化及び技術の発信力強化	● 圧延ライン更新等：2026年半ば稼働予定 （うち、矯正機の更新工事は今年度から実施し、2024年6月頃完了予定）
③高度経営人材の育成	
● グローバル拠点間の人材交流を積極化 ● グループ間での人事交流増加	● 人事制度を全面的に刷新(2023年4月) ● 新人事制度に沿って、人材育成/交流を加速

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

キャッシュ配分方針①

営業CF
(直近5年平均
約280億円/年)

投資による営業CF拡大
⇒再投資へ

手元保有
キャッシュ*
約1,700億円
(うちドル預金約10億ドル
2022年12月末換算レート)

外部調達

株主還元
配当性向40%目処 ＋ 自己株式取得
2023年4月28日～新方針

- 毎年の営業CF未使用分を適切に配分
- 安定的な配当と機動的な自己株式取得

5年間総投資 1,100～1,200億円

◆維持更新等 200億円

- 安定収益源として既存設備を維持更新

◆成長投資 900～1,000億円

- 既存設備の戦略的能力増強

国内 300億円 海外 300億円

ヤマトスチール
既存圧延ライン更新等

Siam Yamato Steel
既存圧延ライン更新

PY VINA
中小型圧延ライン増設

YK Steel
工場移転

投資案件次第
優先順位変更

- M&A/新規事業投資

200～300億円

- ターゲット地域：ASEAN
- 新たな事業拠点・事業領域への投資

- 環境対策・DX投資 100億円
  - 生産効率化・省エネルギー化・省人化
  - 低環境負荷設備
  - 電力消費削減以外の環境対策
  - DX投資

- 手元運転資金・緊急対応資金
  - 外部資金調達を含めて随時検討

*手元保有キャッシュ：現預金+長期預金（2023/3期）

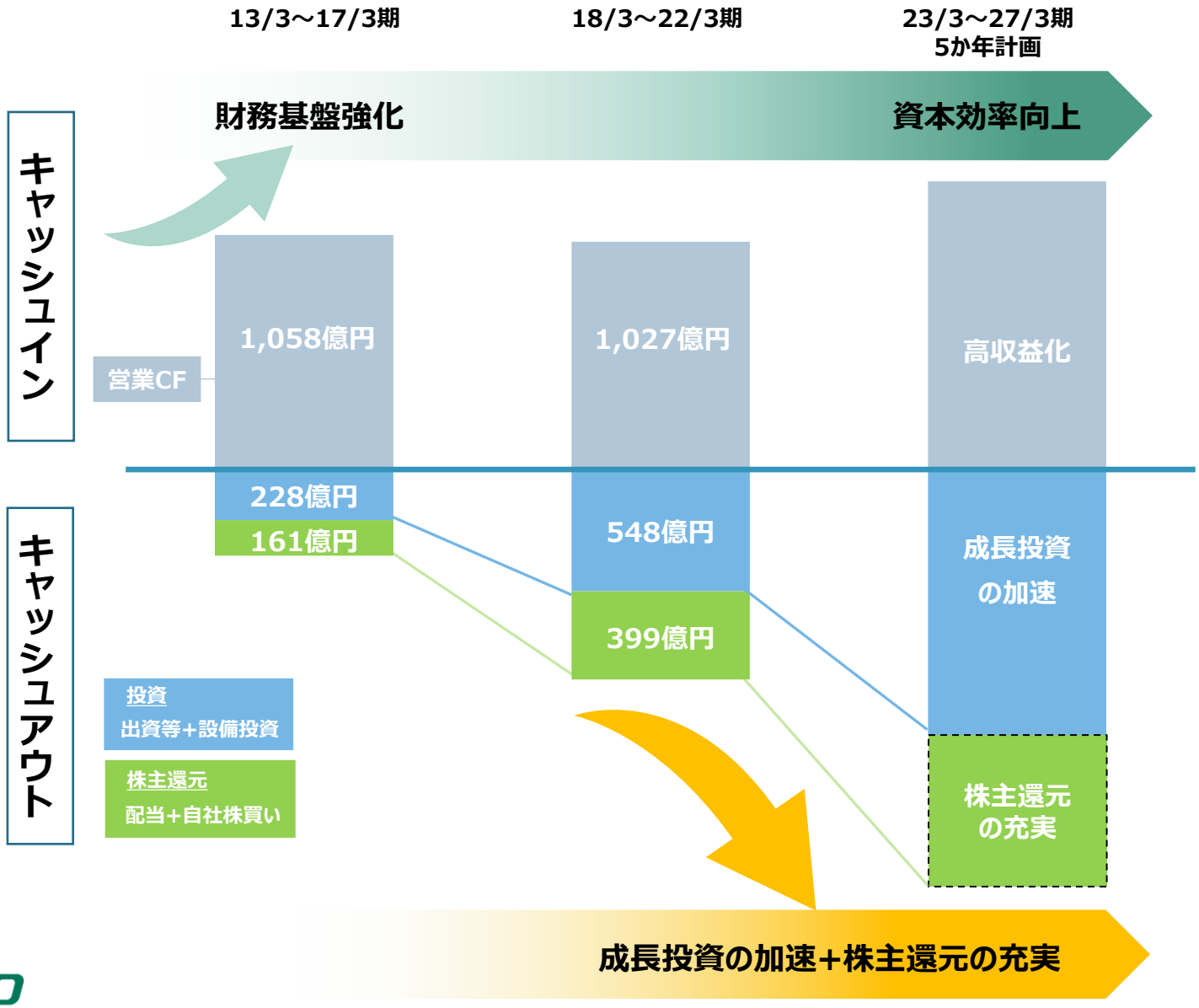
*手元保有キャッシュ：現預金+長期預金

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

キャッシュ配分方針②

■ 過去10年、今後5年(2023/3期含む)におけるキャッシュ配分



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

鉄で未来を 未来の鉄を

Yamato

東証プライム【証券コード5444】